TEAM～40th

～ 新たなる挑戦 ～

東広島市立磯松中学校　第２学年

令和５年　１１月１０　日　第（　７　）号

文化祭・合唱祭

先日はお忙しい中、文化祭・合唱祭にお越しいただきありがとうございました。合唱では、１年生の時よりもパワーアップして本番に臨むことができ、体育館いっぱいに２年生の歌声を響かせてくれました。

文化部の生徒にとっては１年間の集大成を発表する機会でもありました。これまでの練習の成果や培ってきた力を多くの人に伝えることができ、今後の活動に自信を持って臨むことができると思いいます。各教科・文化部の展示・パフォーマンス発表など、内容の濃い充実した２日間となりました。

１組「HEIWA の鐘」

2組「ハートのアンテナ」

3組「いつまでも」

4組「キミのもとへ・・・」

5組「明日へ」

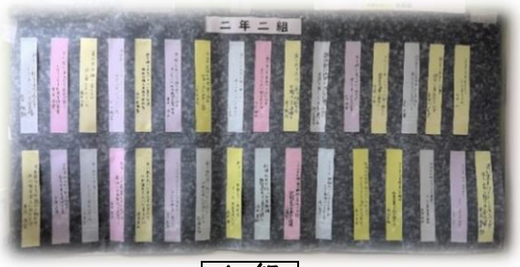
ビブリオバトル
「もっと変な給食」
１組の前田莉花さんが、2年生の代表で発表しました。

国語科「短歌」

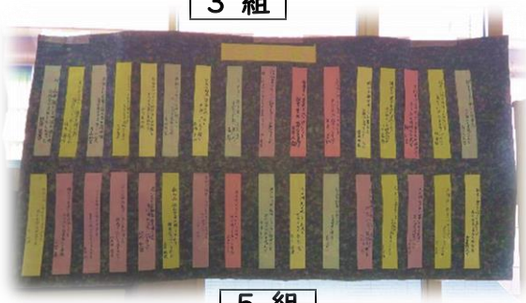
国語科の授業で短歌を作りました。５月の授業で作った短歌をもとに、さらに良い作品にしようと、類義語を調べたり、言葉の順番を入れ替えたりと、表現を工夫して完成させました。慣れない筆ペンで何度も練習して短冊に書きました。

１ 組

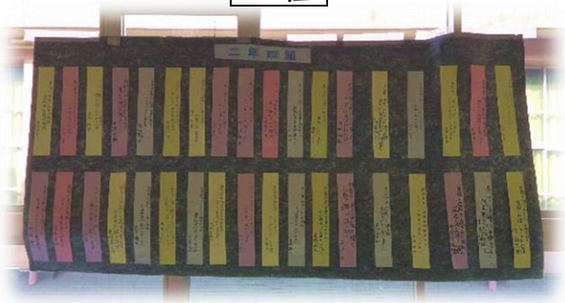
２ 組



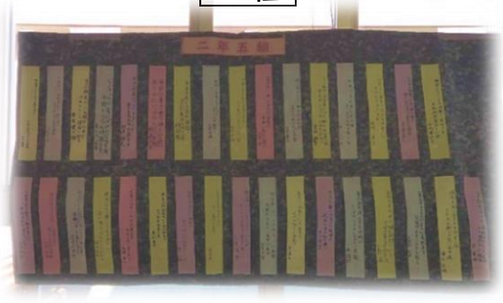
３ 組



４ 組



５ 組



職場体験学習のまとめ（報告会）

職場体験の仕事の内容、学んだこと、事業所の方から聞いた話などを、レポートにまとめて発表しました。

事業所名　医療法人社団 葵会 八本松病院

二年　四組　二番　石川 百々葉

【仕事内容】

１ 放射線科
いつもの仕事の様子を見学させてもらいました。
レントゲン、MRIなどの説明や、実際に使用してみたりしました。

２ 一般病棟
看護師さんについて行って、入院している患者さんの食事や診察室に運ぶなど見学しました。

３ 医療事務
外来の患者さんのカルテを探したり、計算をやったりしました。
一つの打ち間違えが大きく影響したので、責任をもって行いました。

４ 薬局
薬剤師さんから、病院にある薬の説明や機械について教えてもらいました。

５ 地域連携室
患者さんのその後の生活のために、制度を使ったりする仕事があることが、以外でびっくりしました。

６ リハビリ室
リハビリの器具やしていること、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の違いや仕事内容について教えてもらいました。

【体験中の質問とその回答】

Q. 仕事をしていうえで嬉しかったこと
A. もんだいと向き合って解決したとき

Q. 仕事をしていうえでのやりがい
A. 傷みの原因を見つけて、役に立てたとき（放射線技師）
持っている知識を使って、質問に答えられたとき（薬剤師）
大きな事故もなく一日が終わるとき、また、入院していた患者さんが退院できたとき（看護師）

Q. 患者さんに安心してもらう工夫
A. 治療方法などをしっかり説明する。また、患者さんが苦しんでいることを知って、お話を聞いてあげる。

Q. 仕事をしていてうれしかったこと
A. 問題と向き合って、自分の持っている知識で解決することができた時

Q. ベテランエピソード
A. 温まるエピソード
高齢の夫婦が入院していた患者さんが、交換日記をしていたこと。夫が認知症だったのだが、いつも交換日記を楽しみにしていたところがすごくほっこりした。

【体験して気づいたことや学んだこと、印象に残ったこと、働くことで大切なこと】

この職場体験を通して二つの大切なことにきずきました。

一つ目は仕事の大切さです。一つ一つの仕事には、その次の仕事につながっていて、その仕事を自分がしなくても、その自分がした仕事が影響しているのだとおもいました。

二つ目は、どの医療関係の仕事でも患者さんに向き合っていることです。普段、患者さんとあまりかかわらない医療事務でも、会計の計算のとき、その患者さんのカルテをみるのですが、その患者さんに出す薬などを見て、大丈夫か確認している所を見てかかわっているのだと思いました。